

## 技術系人材の確保・育成対策アクションプランの実施状況(平成25年度)

事業名 ※ローマ数字(3本の柱) ※○数字(具体的事業名)	H25実施計画	実施結果	課題、来年度の取り組み方針	担当課名
<b>I 企業が求める人材の育成体制の強化</b>				
① 産業技術短期大学校におけるものづくり人材育成の充実強化	生産技術科において機械の設計や製作・制御の実習を充実させるなど、ものづくり系学科のカリキュラムを見直し、できることから早期に実施していく。	○企業ニーズに対応した人材を育成するため、製品の設計・製造過程に即した実践的なカリキュラムへの見直し(生産技術科)、学生の能力・適性に応じた習熟度別コースの設置など、ものづくり系3学科それぞれにおいて、カリキュラムの見直しやその内容の一部先行実施	<b>【課題】</b> ・カリキュラムの充実 【来年度に向けての取り組み】 ・カリキュラム見直し、一部先行実施の実施結果等を踏まえ引き続きカリキュラムの充実を図る。 ・組織体制の充実強化を図る。	産業人材課
② 産業技術短期大学校と工業系高校との連携の強化	産業労働部及び教育委員会の関係所属による検討会及びワーキンググループを開催し、出張授業の拡充、連携カリキュラムの充実、国中地域の工業系高校との連携拡大等について検討する。	○産短大教員による工業系高校等(谷村工業高、甲府城西高、葦崎工業高、富士北稜高校、塩山高校)での出張授業を実施。 ○産短大都留キャンパス教員と谷村工業高、富士北稜高教員とで連携策等について協議を行った。	<b>【課題】</b> ・連携カリキュラムの充実や工業系高校への出張授業の拡充など連携拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・都留キャンパスでの取り組みの成果や課題等を踏まえ、引き続き連携拡大等について検討を進めていく。	産業人材課
③ 山梨大学工学部地域産業リーダー養成教育プログラム実施事業	①「山梨の魅力を探る」、「企画力実践講座」などの特別演習や特別インターンシップの実施。 ②特別演習、特別インターンシップ及び卒業研究地域報告会に要する経費への助成。	○特別演習 4月から県内経営者等による講義 8月に県外研修 三井造船(株)千葉事業所(3名) ○特別インターンシップ 8月1名、9月2名、12月1名 受け入れ企業 4社 延べ実施日数18日 ○卒業研究地域報告会 3月17日実施	<b>【課題】</b> ・対象学生の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・特別インターンシップ、特別演習等事業内容の充実。	産業人材課
④ 地域と連携した工業系技術力向上対策事業	①地元山梨に密着した中小企業での現場実習 ②企業等の高度熟練技術者による実践的指導 ③産業技術短期大学校との連携 ④関係機関等との共同研究を通して、課題対応能力、コミュニケーション力を育成 ⑤教員の企業等での研修等 工業系高校6校で取組を行い、本県製造業を継続的に発展できるものづくり人材の育成を推進し、地域産業界に発展に貢献する。	○推進委員会1回(5月、2月は大雪のため中止)、担い手委員会6回(4、5、7、10、1、2月)実施 ○全ての工業系高校で企業現場実習及び高度熟練技術者による実践的授業を実施 ○産業技術短期大学校との授業連携の実施 ○技能検定 結果 受験者 H25 367人 (H24 285人) 合格者数 H25 265人 (H24 225人) ○実績(H25数値目標) ・事業参加のべ生徒数1,571人(1,500人) ・協力企業のべ数286社(200社) ・技能検定合格者のべ数18%増加(15%増加) ・教員企業研修のべ参加数116人(100人) ・就職内定率100%(H21~H24 100%)	<b>【課題】</b> ・技能検定取得者数の増加 ・企業が必要とする人材の育成 【来年度に向けての取組】 ・就職内定率100% ・企業等との情報交換を通して、企業ニーズの把握と人材の育成を行う。 ・企業現場実習を活用して、コミュニケーション能力の育成を図る。 ・教員の実技指導等の指導力向上を図る。	高校教育課
⑤ キャリア教育推進支援事業	①本事業を位置づけたキャリア教育全体計画と年間指導計画を提出 ②体験プログラム終了ごとに実施報告書と生徒評価集計票の提出を求め、プログラムの検証及び改善等の指導 ③中間時点において、実施状況の確認と次年度の実施計画を検討 ④2月14日(予定)に実践事例発表会を開催し、情報交換を行う。 ⑤年度末には、まとめの報告書、教員の自己評価、生徒評価の提出を求め、事業全体の評価、特色あるプログラム事例の抽出と周知 ⑥6月5日(予定)に地域連絡会議を実施し、インターンシップ推進に係る課題解決や情報交換を実施 ⑦インターンシップ受け入れ先企業一覧や啓発パンフレットの作成 ⑧インターンシップ(1日職業体験を含めて)実績報告書の提出と検証	○今年度のキャリア教育全体計画と年間指導計画提出は100% ○体験プログラム実施報告及び生徒評価集計票による生徒の満足度は91.4%と90%以上を達成 ○今年度の実施状況と次年度の実施計画検討のヒアリングを10月2日~4日で実施し、事業実施上の課題や改善点を確認 ○インターンシップ地域連絡会議を6月5日に実施 ○インターンシップ受け入れ先企業一覧・啓発パンフレットを5月に各校配付 ○実践事例発表会を2月14日(金)に開催し、情報交換を実施 ○次年度のキャリア教育全体計画と年間指導計画についても100%提出済	<b>【課題】</b> ・小、中学校からの系統的かつ差別化を図るキャリア教育の実施 【来年度に向けての取り組み】 ・各校の運営体制の確立と中核教員の育成(教員研修の充実) ・地域の教育資源の活用や外部機関との連携支援 ・定住促進に資する体験プログラムの実施 ・教材「山梨に生きる」の改訂 ・各校の取組状況や成果の情報共有や情報発信の方策についての検討 ・普通科高校のインターンシップに対する取組数の向上	高校教育課
⑥ 小・中学校、高校のキャリア教育推進体制の整備	①小・中学校キャリア教育研究協議会の開催(年2回) (小・中学校のキャリア教育担当者の悉皆研修 小181名・中88名) ・学校の特色を生かしたキャリア教育の指導計画の作成と小・中学校の連携について、課題協議と演習を行う。 ②キャリア教育推進事業研究指定校の研究結果の活用と普及	○小・中学校キャリア教育研究協議会の開催(年2回)(第1回5月2日、第2回9月10日 全小・中学校キャリア教育担当269名) ○研究のまとめと研究成果の県内への普及。	<b>【課題】</b> ・学校の特色を生かしたキャリア教育の指導計画の作成と小・中学校の連携 【来年度に向けての取組】 ・小・中学校キャリア教育研究協議会を実施して、学校の特色を生かした全体指導計画及び年間指導計画の作成、小・中学校の連携を一層推進する。あわせて、特色ある実践事例の交流を行う。	義務教育課
⑦ 小中学生を対象としたセミナーの実施	職場体験の事前・事後学習として、キャリアカウンセラーが学校へ出向いてセミナーを開催し、職業観、勤労観の醸成を図る。 ・30校予定	○16校 1,084名 ・H25年度で事業終了	<b>【課題】</b> ・小中学生を対象としたキャリア教育の推進 【来年度に向けての取り組み】 事業終了	労政雇用課

## 技術系人材の確保・育成対策アクションプランの実施状況(平成25年度)

事業名 ※ローマ数字(3本の柱) ※○数字(具体的事業名)	H25実施計画	実施結果	課題、来年度の取り組み方針	担当課名
<b>II 人材確保・マッチング支援の充実強化</b>				
⑧ 産学官連携人材確保・育成推進会議の運営	①年2回の会議を開催する。 ②会議での議論などを通じ、必要に応じプランの内容を見直す。 (H20・17事業、H21・20事業、H22・23事業、H23・23事業) ③技術系人材の確保のため、産学官が連携して行う事業を模索する。	○会議の委員の構成等及びアクションプランの見直し(5本の柱から3本の柱に集約、3年を目標に目標設定) [ものづくりインターンシップ推進連絡会議]を兼ねた第1回会議を8月6日に開催 ○第2回会議を2月17日に開催予定であったが4月に延期	【課題】 ・産学官のさらなる連携強化 【来年度に向けての取り組み】 ・人材確保育成に関する情報交換、施策の検証・見直しアクションプランの進行管理	産業人材課
⑨ ものづくりインターンシップの推進 (ものづくりインターンシップ推進連絡会議)	インターンシップ受入企業の拡大、企業訪問による個別要請と各大学への情報提供 ものづくりインターンシップ推進連絡会議の開催(年2回実施予定)と推進委員会の設置	○インターンシップコーディネーターによる企業訪問 21社 ○山梨大学学生の企業見学会への支援 9社 42名参加 ○「産学官連携人材確保・育成推進会議」と合わせ「ものづくりインターンシップ推進連絡会議」を開催 ○「ものづくりインターンシップ推進委員会」を産短大 8月12日、山梨大学 9月5日 開催	【課題】 ・インターンシップ制度の推進 【来年度に向けての取り組み】 ・インターンシップコーディネーターによる企業情報の収集、マッチング支援によるインターンシップの推進 ・ものづくりインターンシップ推進連絡会議の開催	産業人材課
⑩ 企業団体と山梨大学との情報交換会の開催	内容:「平成26年3月卒業予定者の対策について」 (山梨大学と機械電子工業会とで実施)	○企業と山梨大学教授との意見交換会の開催 12月4日 参加者 ・角田アドバイザー ・県内企業 4社 ・山梨大学教授等 5名 ・産業人材課 3名	【課題】 ・企業と大学との情報共有 【来年度に向けての取り組み】 ・将来を見据えた技術系人材の確保を必要とする県内企業と、企業の求人ニーズの把握による効果的な就職支援を目指す大学との情報交換の場として引き続き実施する。	産業人材課
⑪ 「やまなし暮らし支援センター」によるU・Iターン対策の推進	大学の就職支援室と連携し、学内の就職セミナーなどのイベントで学生に直接情報提供するとともに、窓口相談等を実施する。	○セミナー等参加状況 ・参加回数 47回 ・参加人数230名 ○今後もセミナー等への参加に努めるとともに、来所者等に対する支援を実施していく。	【課題】 ・U・Iターン就職の促進 【来年度に向けての取り組み】 ・学校訪問や就職面接会等により学生に対して情報提供を行うとともに、窓口相談等により一般求職者等に対する就職支援を継続して実施する。	労政雇用課
⑫ 県内大学のジョブカフェランチの運営	各大学でジョブカフェランチを開催し、学生の就職を支援する。 ①県立大学 週1回(火曜日) ②都留文科大学 週1回(金曜日) ③県立産業短期大学 週1回(水曜日) ④宝石美術専門学校 週1回(月曜日)	○参加者数 ・県立大学:149名 ・都留文科大学:51名 ・県立産業短期大学:154名 ・宝石美術専門学校:356名	【課題】 ・利用者の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・大学等に直接出向き、学生に対して相談やセミナーを継続して開催することにより、県内企業の人材確保と学生の就職を支援する。	労政雇用課
⑬ 中小企業新卒人材採用支援事業	①「新卒者就職応援企業」の登録・HPによる企業情報の発信 ②冊子による学生への企業情報の提供 ③「新卒者就職応援企業」と学生等との就職面接会の開催 ④中小企業の採用力の強化、職場定着の支援	①企業の登録(新卒者就職応援企業ナビ) 467社 ②冊子の作成 ・「やまなし中小企業ガイドブック」の作成 ③やまなし中小企業合同就職面接会の開催 ・第1回 平成25年 6月24日 ベルクラシック甲府 67社、413名 ・第2回 平成25年 8月 9日 ベルクラシック甲府 56社、211名 ・第3回 平成25年10月22日 ベルクラシック甲府 67社、143名	【課題】 ・参加企業数の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・県内産業を支える優秀な人材を確保するため、県内中小企業を対象とした就職支援事業を継続して実施する。	労政雇用課
⑭ 県内企業による県内外大学の学生向けPRガイダンスの実施	・開催場所:山梨大学 ・開催回数:2回	・平成25年12月16日 ・平成25年12月18日 ・平成26年1月15日	【課題】 ・大学との連携による就職支援 【来年度に向けての取り組み】 ・県内中小企業における人材を確保するため、ガイダンス(合同就職面接会)を継続して後援し、学生の就職活動を支援する。	労政雇用課
⑮ 幅広い年齢層への就職情報の提供	各高等学校の卒業時期や「親のためのセミナー」、「企業説明会」等の開催時において資料を配布し、登録の促進に努める。	○ユースバンクやまなし ・登録者数3,500名 ・親のためのセミナー、県外大学の父母会、就職面接会等に周知	【課題】 ・登録者の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・「親のためのセミナー」、「父母会」、「就職面接会」などにより継続して周知を図り、登録を促進する。	労政雇用課
⑯ 新規高卒者等を対象とした県内企業との面接会開催	就職希望者と求人企業との出会いの場を提供する。	・平成25年 4月25日 ベルクラシック甲府 70社、279名 ・平成25年12月17日 ベルクラシック甲府 57社、123名 ・平成26年 2月 3日 ベルクラシック甲府 66社、115名 ・平成26年 3月13日 ベルクラシック甲府 39社、77名	【課題】 ・参加企業数の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・県内企業の人材確保と学生の就職支援のため、継続して実施する。	労政雇用課

## 技術系人材の確保・育成対策アクションプランの実施状況(平成25年度)

事業名 ※ローマ数字(3本の柱) ※○数字(具体的事業名)	H25実施計画	実施結果	課題、来年度の取り組み方針	担当課名
<b>Ⅲ 企業が行う人材育成への支援体制の強化</b>				
⑰ 県立職業訓練施設における在職者訓練の充実	①職業訓練に関する講座情報の提供を希望する企業への情報提供の継続。県立職業能力開発施設での在職者訓練修了者の属する企業への新規開拓の働きかけを行う。 ②在職者訓練修了者に対する、又は修了者を通じての新規開拓に努める。 ③経営者や人事担当者を対象とした、職業訓練に関連したセミナー(「指導者研修」、「人の扱い方」、「仕事の教え方」など)を実施する。企業ニーズに対応する独自カリキュラムによる在職者訓練を実施する。(オーダーメイド型訓練・15コース、定員151人開設予定)	○企業ニーズに対応する独自カリキュラムによる在職者訓練を実施。 ○H25年度実施のオーダーメイド型訓練は6コース。60名が修了。	<b>【課題】</b> ・周知活動の強化。特にオーダーメイド型訓練の周知が必要。 【来年度に向けての取り組み】 ・在職者訓練は、受講率も高く好評であるため引き続き実施する。 ・受講率が低いコースの廃止や受講率が高いコースの回数増など見直しを図る。	産業人材課
⑱ 工業技術センター等におけるものづくり人材育成研修の充実	①工業技術センター 18講座実施 ②富士工業技術センター 8講座実施 合計 26講座	○実施済み 26講座(機械電子関連の加工・測定・評価技術等) ・受講者数 311名	<b>【課題】</b> ・企業ニーズに即した実践的な研修課題の設定 ・産業振興ビジョンを絡めた研修課題の設定 【来年度に向けての取り組み】 ・受講者への研修内容に関するアンケート調査の実施 ・より多くの県内企業への研修案内の実施	産業支援課
⑲ やまなし匠の技・伝承塾の開催	○開講予定 ①開講科目、募集人数 ・普通旋盤コース 10人 ・フライス盤 仕上げコース 8人 ②開講期間 平成25年8月～平成26年2月の土曜日、計15日間 ③場所 山梨県立産業技術短期大学校 ○これまでの実績(H18～H24) 参加者数116人、修了者数104人	○開講科目と受講者数 普通旋盤コース 10名、フライス盤・仕上げコース 6名 ○開講期間 平成25年8月10日～平成26年2月1日の土曜日、計15日間 ○場所 山梨県立産業技術短期大学校 パナソニックファクトリーソリューションズ(株) 甲府事業所	<b>【課題】</b> ・修了後の技能の維持向上 【来年度に向けての取り組み】 ・事業案内の拡充と新規参加企業の開拓 ・カリキュラムの一層の充実を図る。	産業人材課
⑳ ものづくり人材育成支援事業	成長分野産業への参入や技術力強化を目指す企業への周知と普及 対象:県内中小企業 補助率:研修期間中の賃金の1/2(上限7,870円 50万円/1社)	○実績 8企業、14人、延 139人日 614千円	<b>【課題】</b> ・成長分野にかかる助成の推進 【来年度に向けての取り組み】 制度の周知と、助成金利用促進を図る。	産業人材課
㉑ 高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する職業訓練との連携	・高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施する求職者支援訓練と調整を図る中で、平成25年度は委託訓練の定員を769名(農業科60名を除く。)と前年度と同規模(H24当初計画770名)で実施する。 ・観光関連の訓練として、新たに「販売スタッフ養成科」「接客サービス科」の2コースを実施。	・平成25年度は委託訓練を定員765名(農業科60名を除く。)で実施。 ・観光関連の訓練として、新たに「販売スタッフ養成科」「接客サービス科」の2コースを実施。	<b>【課題】</b> ・H26年度は国からの委託事業が縮小の方向が示されているが、引き続き委託訓練の充実を図ることが必要。 【来年度に向けての取り組み】 ・求人・求職のニーズを精査しつつ、定員充足率や就職率を踏まえ訓練内容の見直しを進める。	産業人材課
㉒ 燃料電池関連産業に係る人材育成支援	対象:県内中小企業 補助率:1/2 採択予定件数 3件	・平成25年9月17日～10月31日で公募をするも、応募者なし。	<b>【課題】</b> ・取組みを行う企業数の拡大 【来年度に向けての取り組み】 ・燃料電池関連産業への参入を希望する企業の掘り起しを進めるとともに、より一層の制度周知を図る。	海外展開・成長分野推進室